

2024年12月5日

一般社団法人 日本外航客船協会



「クルーズ・オブ・ザ・イヤー 2024」の選考結果について

日本外航客船協会（会長：遠藤弘之、郵船クルーズ株式会社 代表取締役社長）では、国土交通省、観光庁及び一般社団法人日本旅行業協会の後援の下、第14回目となる「クルーズ・オブ・ザ・イヤー 2024」の募集を行い、11月12日開催の選考委員会において、下記の通りグランプリ・国土交通大臣賞1点、優秀賞3点、特別賞5点を決定しましたので選考理由とともにお知らせします。

授賞式は12月19日に千代田区平河町の新海運ビルで開催します。

■グランプリ・国土交通大臣賞：飛鳥Ⅱ 2024年世界一周クルーズ （郵船クルーズ株式会社）

コロナ禍後、日本船による世界一周クルーズの実施は実に6年ぶりとなった。中東情勢の影響により直前に航路を変更するなど難しい状況にもかかわらず、充実した内容で実施できたことが高く評価された。クルーズ途中にドイツで建造中の「飛鳥Ⅲ」を見学する造船所ツアーを実施するなど、未来へつながる内容だったことも評価された。多くの人が世界を旅するクルーズが、まさに平和の象徴であることを強く印象づけた。

■優秀賞：MITSUI OCEAN FUJI Debut Cruise 2024 （商船三井クルーズ株式会社）

日本船社による新たなラグジュアリー客船の就航という話題性の高さが評価された。デビュークルーズ6航海では、日本各地で同船をお披露目しながら乗客が寄港地を堪能できるようなゆとりあるスケジュールを組んでいる。選考時点では就航前であったが、成功への期待を込めての授賞とした。

■優秀賞：MSC クルーズ沖縄シーズン （株式会社 MSC クルーズジャパン）

MSC クルーズジャパンは冬季に那覇発着クルーズを約3ヶ月にわたって実施。短期間で参加しやすい日程を設定し、旅行会社と協力して、日本で初めて超大型船によるフライングクルーズを大規模に展開した点が高く評価された。新しいマーケットを開拓した功績は大きく、閑散期となる冬季の沖縄の観光業にも大きく寄与した。

**■優秀賞：2024 ソーラーエクリプス アメリカ大陸横断皆既日食観測クルーズ 14 日間
(株式会社阪急交通社)**

「ディスカバリー・プリンセス」による北米皆既日食クルーズと、メジャーリーグ大谷選手が当時在籍したエンゼル・スタジアム訪問、ディズニーランド・リゾートでの皆既日食観測を組み込んだツアー。個人旅行では手配困難な盛りだくさんの内容で、「これぞ日本の旅行会社のすごさ」との評価を得た。クルーズファン、天文ファン、ディズニーファンが双方向に別分野に興味を広げた点も高く評価された。

**■特別賞：空知信用金庫創立 100 周年記念特別航路 につぼん丸チャータークルーズ
(一般社団法人旅の力、株式会社 JTB 北海道事業部、空知信用金庫)**

空知信用金庫創立 100 周年記念事業として実施したチャータークルーズで福島県小名浜に寄港し、クルーズ客船として初めて福島県浜通りの東日本大震災の被災地域を組み込んだ「ホープツーリズム」ツアーを実施。船内では被災地域の産品を提供・販売するなど PR も展開した。天災の多い日本における社会貢献の新しい形としてクルーズを活用できたことが評価された。

**■特別賞：シルバーウィーク食の日本一周クルーズ 七尾港
(石川県七尾市、商船三井クルーズ株式会社)**

能登半島地震以後、クルーズ客船として初めて石川県七尾に寄港。オプションツアーでは従来の奥能登観光が難しい中、限られた観光で現地の現状を知ってもらう機会となった。船内では能登の産品を販売。出港時にはこれまでにない多くの市民が港を訪れ、賑わいを創出するなど、客船の訪問が被災地の「元気」になり得ることを示した。

**■特別賞：第 3 号ふ頭及び周辺 地域の再開発が生んだ新たな人の流れ
(北海道小樽市)**

小樽駅および観光中心部に近い第 3 号ふ頭及びその周辺地域を再開発し、CIQ 機能を備えたクルーズ旅客ターミナルや大型バス駐車場、大型クルーズ船対応岸壁を整備。これまで市中心部から離れた勝納ふ頭に係留していた大型クルーズ船も第 3 号ふ頭を利用できるようになり、乗客が徒歩で寄港地観光が可能な港として、船会社や旅行会社から高い評価を得た。市民や観光客、乗客の交流空間として新たな賑わいの創出にも貢献した。

**■特別賞：佐世保港
(佐世保市港湾部)**

クルーズ客船の寄港時に、船会社や旅行会社などと連携したイベントを多数開催。乗客・乗組員に加え、市民や観光客を巻き込んで大規模なフェスティバルに仕立て、5,000～3 万人が来場する盛り上がりを見せた。幅広い年代にクルーズへの興味・関心を高めることに成功。担当部署の熱量の高さと企画力が高く評価された。

■特別賞：クルーズのお客様“おもてなし”トライアル ～我が国港湾の客船受入水準
向上を目指して～

(一般社団法人横浜港振興協会)

同協会は横浜港での客船受入業務を受託している。乗客・乗組員向けに観光案内・土産販売・日本文化体験を実施する「クルーズコンシェルジュデスク」の充実や、市内3つのエリアを結ぶ「横浜みなと周遊バス」の実施、東京での観光・宿泊が多いクルーズ客に横浜のホテルの認知度を高める見学会「サロン・ド・ヨコハマ」など、ソフト面でのサービス向上への取り組みが評価された。

◆本件に関する問い合わせ：

(一社) 日本外航客船協会 伊藤/望月

TEL : 03-5275-3710 Email : gogo@jopa.or.jp